

乗合タクシーの乗降場所の追加について（案）

① 乗合タクシーにおける現状の問題点（改善点）等

(1) 平成25年8月に実施した「簡易アンケート調査」における主な意見

- ・予約するのが面倒。
- ・バスと比べて運賃が高い。
- ・乗降場所を増やしてほしい。（医療機関、かたくりの湯、総合体育館、郵便局など）
- ・運行時間を延長し、日曜日にも運行してほしい。
- ・他の交通機関があるため現在は必要ない。

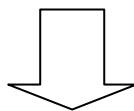
※乗降場所の追加については、電話等での問い合わせも有。

(2) 乗合タクシーの実利用人員について

平成26年6月に運行開始（平成25年4月）からの利用状況の詳細なデータを抽出したところ、乗合タクシーの利用状況に偏りがあることが判明した。

- ・登録者数485人のうち、一度も利用したことがない人が375人（約77.3%）
- ・利用したことがある人のうち、1回～2回しか利用したことがない人が53人（約10.9%）
- ・利用実績の多い上位10人程度によって全体の利用の半数を占めている

このことから、少数のヘビーユーザーが利用を繰り返すことで毎月200人前後で推移している延べ利用者数が押し上げられており、利用が非常に限定的になっていると考えられる。



② 乗合タクシーの乗降場所の追加について（案）

乗合タクシーの実証実験運行は、平成25年度から平成27年度までの3年間となっており、今年度から来年度にかけて予定している市内地域公共交通検討調査において、更に詳細な利用状況の調査や対象地域での意見交換会等を実施した上で、平成28年度からの運行方法を検討していく予定である。

しかし、対象地域の多くのかたが利用している状況になっておらず、実証実験期間中においても早急な改善が必要であることから、上記①の状況を踏まえ、現時点で比較的要望の強い市内3カ所の施設（かたくりの湯、総合体育館、武蔵村山郵便局）を乗降場所として追加（開始予定時期：平成26年10月1日）し、利用者層の拡大及び新規利用者の開拓を図ることとする。

なお、乗降場所の追加に関して、委託料の変更（増額）はない。